



環日本海・東アジア諸国図／通称「逆さ地図」
富山県が国土地理院の承認を得て作成した
地図です。(平24情使第238号)「逆さ地図」
に航路、航空路が重ねてあります。

Toyama New Industry Organization

アジア経済交流センター

アジアをはじめ世界に羽ばたく企業を支援

..... 航空路
..... 航路

9. アジア経済交流の推進

■ アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

アジア地域における貿易・投資等の経済活動を促進するため、当該地域の情報を収集し、刊行物やウェブサイト等を通じて提供します。

<https://www.near21.jp/>



ホームページでも公開

10. 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

■ 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

海外ビジネスに関する実務経験が豊富なアドバイザーを配置し、「富山県海外ビジネスサポートデスク」と連携を取りながら、アジア地域を中心とする海外販路開拓や海外進出に挑む県内企業の皆様にバックアップします。

富山県海外ビジネスサポートデスク	
○富山県バンコクビジネスサポートデスク(北陸銀行バンコク駐在員事務所)	23rd Floor Unit 2314, Bhiraj Tower at EmQuatier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-8495
○富山県台北ビジネスサポートデスク(ジェック経営コンサルタント台北事務所)	台北市信義區信義路五段5號4樓4B14室 TEL:+886-2-2725-5918

11. 貿易・投資コンサルティング

■ アドバイザーによるコンサルティングや「中国研究会」の開催



アジア地域・貿易等に関する専門知識や実務経験が豊富なアドバイザーが、貿易や海外進出などについてのご相談に応じ、アドバイスします(事前予約制・無料)。

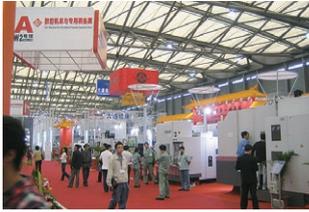
貿易投資 アドバイザー	中国	藤野 文悟
	東南アジア	鎌田 慶昭
	ロシア	森岡 裕
	東南アジア	宮本 敏和
	中国	稲田 堅太郎

また、県内企業などからの要請に応じセミナー講師を派遣します。中国への理解を深め、中国に関心のある県内企業の情報交換の場とすることを目的とした勉強会「中国研究会」を毎月1回開催しています。

12. 海外市場開拓の支援

■ 販路開拓の挑戦支援(とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者の販路開拓を支援するため、海外で開催される展示会への出展、現地での市場調査等に対し助成します。



国外市場開拓	
助成率	1/3
限度額	50万円
助成期間	最長2箇年度

■ 国際見本市への出展支援

海外の見本市への出展支援事業を行い、県内中小企業の海外販路開拓をサポートします。

○2020年度予定

第12回大連日本商品展覧会	開催地：中国大連市 期間：2020年9月
METALEX	開催地：タイ 期間：2020年11月

■ 海外バイヤー招へい商談会の開催

海外からバイヤーを招へいし、県内中小企業の商品・技術を広くアピールします。

○2020年度予定

海外バイヤー招へい商談会
富山県及び岐阜県、長野県が連携して、海外からバイヤーを招へいした商談会を開催

■ 経済交流ミッションの派遣

主にアジア地域の投資環境や経済・物流の動向を探るためミッション団を派遣します。現地では政府機関や企業を訪問し、双方のビジネスチャンス拡大に向け、率直な意見交換を行います。



13. 富山県ものづくり総合見本市の開催

国内外のものづくり技術や製品を幅広く展示し、経済・ビジネス交流の拡大を推進します。

(最近の実績)

会期	2019年10月31日(木)～11月2日(土)
会場	富山産業展示館(テクノホール)
主催	富山県ものづくり総合見本市2019実行委員会
参加国・地域	中国、台湾、モンゴル、ロシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、タイ、ミャンマー、インド、マレーシア、米国
対象分野	工作・産業機械、自動車関連、精密機械、電子・電機、鋳造・金型、金属加工品、プラスチック、アルミ、IT、化学、医薬品、伝統工芸、食品加工、繊維、クリエイティブ産業 等

CASE

3

株式会社やぶうち商会 藪内 朋子 専務

▶ P.10 ● 販路開拓挑戦応援事業(国外)

▶ P.7 ● ものづくり研究開発支援事業

敏感肌の自分用に始めた化粧品づくり 商品化して海外にも販路をのばすまでに

敏感肌で市販の化粧品が合わなかったやぶうち商会の藪内朋子専務。ハチミツを使った石けんやハンドクリームを試作すると評判がよく商品化することに。東京ビッグサイトの展示会で紹介すると、OEMでの製造依頼を多数引き受けた。

自社ブランドでの展開にこだわった藪内専務は、パッケージとブランド名を一新して、再び営業活動に。「販路開拓挑戦応援事業(国外)」を活用して香港の展示会に出展すると、OEM生産と代理店契約の各1件が成約した。

一方で、漢方薬に用いられるトウキの葉を利用した化粧品づくりにも挑戦。「ものづくり研究開発支援事業」の採択を受けて試作品をつくり、幕張メッセの国際化粧品展で紹介すると、「取り扱いを希望する代理店が相次ぎ、また中小企業基盤整備機構からは『国の地域資源活用プログラムを活用して、商品展開をさらに図ったらよい』と誘いをうけるまでになった」(藪内専務)という。化粧品づくりは、同社の新たな経営の柱に育ちつつあるようだ。



◀ハチミツを利用してつくった「LALAHONEY」の石けん等。肌の弱い方が使っても肌荒れなどしない。トウキの葉を使った化粧品は、試作段階から評判が高い。

▼「いずれは欧米の市場にもチャレンジしたい」と語る藪内朋子専務。



▲「Cosmopro Asia 2019」(香港)での同社のブースの様子。

